

2017 年 11 月 8 日

「医療画像における精度管理システムを用いた画像診断検査の被ばく線量および検査精度の一括管理に関する研究」

1. 研究の対象

大阪急性期・総合医療センターにおいて、2017 年 12 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日までの間に通院または入院中にレントゲン検査、X-TV 検査、CT 検査、MRI 検査、RI 検査 PET-CT 検査、放射線治療の何れかを行った方

2. 研究目的・方法

「目的」

- ① 画像診断検査の被ばく線量や撮影条件を一元管理する
- ② DICOM の整備を行うことで当施設のデータベースの作成と、大規模なデータ群を構築したデータベースを基に検査の適正化を行う
- ③ 収集した大規模なデータがベンチマークとして全国の画像診断検査の精度管理に役立てる
- ④ 精度管理システムのメーカーや機器メーカーと協議して精度管理システムを開発する

「方法」

各検査装置において、対象となる患者様の撮影条件や被ばく線量を画像保存通信システム (Picture Archiving and Communication Systems : PACS) より取得する

「研究期間」2017 年 12 月 6 日～2020 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料 : Digital Imaging and COmmunications in Medicine : DICOM

情報 : 身長、体重、年齢、性別、撮影条件、被ばく線量等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター画像診断科

研究責任者：診療放射線技師 主任 西田 崇

電話 06-6692-1201 内線 5113